

第10回 市民と議会の意見交換会

報告書

あなたの声をカタチに

開催日:令和6年1月27日(土)

場 所:あかね文化ホール

蒲生コミュニティセンター



●開会にあたって～議長あいさつ～●

皆さんこんにちは。東近江市議会議長の西澤です。

本日は、第10回市民と議会の意見交換会にお越しを頂きありがとうございます。

平素は、東近江市議会に格別の御理解と御協力を賜っておりますことに、心からお礼を申し上げます。

第1部のオープニングとして、先程は、朝桜中学校吹奏楽部の皆さんに演奏していただきました。素晴らしいハーモニーを奏ておられるのを拝聴し、この東近江市が、まさに、ゆたかな調和のとれた、より魅力あふれるまちになるよう尽力してまいりたいと決意を新たにしたところです。

この後、市議会の取組報告をさせていただきます。日頃の議員活動について知っていただく良い機会と考えています。

また、第2部については、東近江市の未来について、皆さんと一緒に意見交換できることを楽しみにしているところです。特に今回、今まで参加の少なかった女性の皆様にも積極的な参加をお願いいたしました。

このたびの気づきが、郷土愛を育み、うるおいとにぎわいのまちの実現につながることを願っています。限られた時間ではありますが、皆さまにとって充実した時間となりますよう、議員一同、精一杯努めてまいりますので、活発な意見交換をよろしくお願い申し上げます、開会にあたりましてのご挨拶といたします。

本日は、お越しいただき、誠にありがとうございます。

令和6年1月27日
東近江市議会議長 西澤 由男



開催概要



市議会では、議会の活動を市民の皆さんにお伝えし、市政に対する意見などを聞かせていただくために、この意見交換会を開催しています。

10回目となる今回は、約130人に参加いただきました。



朝桜中学校吹奏楽部の皆さんによる素晴らしい演奏で、オープニングに華を添えていただきました。

1部では、議員による市議会の取組報告を行い、議会の仕組みや各常任委員会の活動について紹介しました。

2部では、ワールドカフェ方式を取り入れた意見交換会を開き、参加者と議員が各テーブルに分かれて応援塾さんのおいしいコーヒーやお茶を飲みながら和やかに話し合いました。

今年は、まちのこと・子育てのこと・食のことなど常任委員会ごとにテーマを設け、キーとなる数字とともに会話を広げました。

例年、女性の参加者が少ないことから積極的に呼びかけ、2部は参加者の約7割が女性でした。



第1部

東近江市議会の活動報告



議会の仕組みや議員の活動、定数や議員報酬などを報告しました。



総務常任委員会

総務部・企画部・税務部・市民部・環境部

- ・新たな環境教育施設「東近江市布引の森」について
- ・ペットボトル水平リサイクルの協定締結について
- ・行政視察報告



福祉教育こども常任委員会

福祉部・健康医療部・教育部・こども未来部・文化スポーツ部

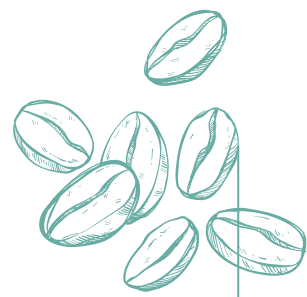
- ・不登校児童生徒対策について
- ・関係機関との意見交換
- ・行政視察報告



産業建設常任委員会

農林水産部・都市整備部・商工観光部・水道部

- ・農林水産大臣賞受賞「花匠」の視察
- ・農業委員会との意見交換
- ・行政視察報告



ワールドカフェ【意見交換会】

☕ ワールドカフェとは・・・

会議室で行う機能的な会議よりも、カフェでおしゃべりするような自由な雰囲気の方がいきいきとした意見の交換や新たな発想の誕生が期待できるのではないかという考えに基づいた話し合いの手法です。

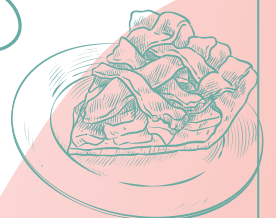
この手法で、さまざまな価値観や違った環境を持つ人たちが集まる中でも意見交換がしやすいこと、思いのまま自由に発言できること、また多くのアイデアが創出されることを期待し、今回もワールドカフェを開催することにしました。



今回は蒲生地区の応援塾の皆さまにも協力いただきました。

おいしいコーヒーとアップルパイを用意くださり、飲み物やお菓子をいただきながら、参加者と議員がグループに分かれて、和気あいあいと意見交換を進めました。

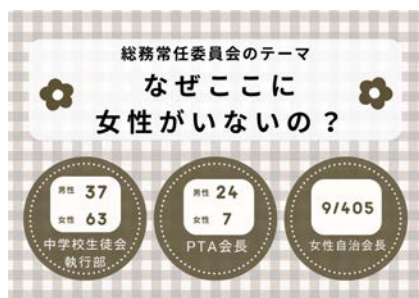
参加者全員が、すべてのテーマについて話し合えるよう、3ラウンドのテーブル移動を行いました。



今回は総務・福祉教育こども・産業建設の各常任委員会ごとにテーマを設け、キーとなる数字とともに話し合いました。

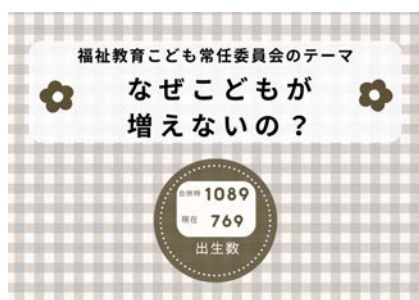


テーマと数字



総務常任委員会 「なぜここに女性がないの？」

市職員の役職別男女比の数字や中学校生徒会、PTA会長、自治会長の男女構成比などの数字をもとに話し合いました。



福祉教育こども常任委員会 「なぜこどもが増えないの？」

合併当時と現在の出生数です。この20年でおよそ3割減っています。ここから、少子化についてや子育てなどについてをテーマに話し合いました。



産業建設常任委員会 「なぜ値上がりが続くの？」

卵の価格やコメの平均価格の推移と、東近江市の新規就農者数から見る食と農。

毎日の食事と、かかわりの深い農業について話し合いました。



ワールドカフェ の様子



グループに分かれて、それぞれの常任委員会のテーマや数字をもとに自由に意見を出し合いました☺



応援塾さんのコーヒーやアップルパイを手に席へ



グループに分かれて、ワールドカフェスタートです♪



各テーブルには、議員がホストとして入ります



各常任委員会ごとに、テーマと数字が用意されています



コーヒーやお菓子をいただきながら、和やかに会話が進みます



ラウンドごとにテーブルをかえて話し合います



活発な意見がたくさん出て盛り上がります



最後は、各テーブルで出した意見をまとめて発表しました



西村委員長、おれのごあいさつ

常任委員会ごとに具体的なテーマを決めての意見交換会。「話が弾むだろうか」との心配は無用でした。どのテーブルも話に夢中。「時間が足りない」との意見も。今回は、テーマにそった数字の提示が功を奏したかもしれません。

ワールドカフェ でのご意見



なぜここに女性がいないの？

管理職、部長級について

- 女性は子育てがあり、仕事が継続できないので管理職になれない、もしくはならない。
- 職場には女性にとって見えない壁があるように思える。
- 女性は男性よりもう一段がんばらねば上がれない。
- 家族の理解と協力があつたから仕事を続けられた。
- 社会の制度は男性社会が前提になっている（昔から続いている組織は男性が多い）。
- 男性は女性の仕事ができない。
- 年齢が進むほど「変えられる」という気持ちから「できない」という現実にかわっていく。
- 女性の市長、市議会議員をもっと生むべき。
- 夜間の出役も男性が中心(昔は夜8時前になったら女性は帰宅させられた)。
- 育休制度を男性も積極的に取得すれば女性の管理職も増えるのではないか。
- 能力に応じた公平な評価があればよいのではないか。
- 女性の昇進には家庭の理解も必要。
- 家庭の中での祖父母のお世話は、女性が担当していて負担が大きい。
- 昔からの慣例が残り女性は前に出にくいのではないか。
- 男性と女性の困りごとは違う。男性はハード系（道路など）、女性は子育てや介護。

生徒会役員・PTA会長・自治会長について

- 地域社会の意識が閉鎖的(男性社会)。
- 昔からの慣例が残り女性は前に出にくいのではないか。
- 女性自身も男性に委ねていることが現状。
- 新興団地では女性自治会長も選出しやすいのでは。
- 子育てが忙しいので自治会の役は夫にまかせたい。
- PTA会長や自治会長を私は女性でもやってみたい。
- できる人がやったらいい。それができると変わってくる。
- 女性は嫁いでいく側が多いので、地域のことは男性がよく知っている。
- 最近PTA会長などは男性がしたくないと女性になることがある。
- 生徒会の数字を見ると将来女性の活躍が期待できる。
- 田んぼの水利権の交渉や神社などの祭りの役は男性が担ってきた歴史がある。

まとめ

世帯主が代表となる自治会役員などは、どうしても男性が多くなってしまいますが、子育てや介護といった女性目線からの困りごとが増加している昨今、こういう問題に対処するためにも女性の活躍が望まれるのかもしれない。



なぜ子どもが増えないの？

少子化の原因に関する意見

【**経済的負担の増大**】経済の停滞と物価高や社会保障費の負担で可処分所得が増えず、若い世代の経済的負担を重くして子どもを持つことへの大きな障壁になっている。子どもの教育にかかる費用の負担増と、家庭を持つための経済的基盤が不安定。

【**結婚観の変化と晩婚化**】結婚や家庭生活に対する価値観の変化がある。特に若い世代では、結婚に夢や希望を持ちにくい社会状況や、交際や同居の面倒さ、経済的なメリットを感じられない点などが結婚に対する認識に繋がっている。

【**仕事と育児の両立の困難**】育児と仕事の両立が難しい状況がある。特に女性のキャリアが断絶されること、保育施設の不足や育児休暇後の職場復帰の困難さが課題。子どもを持つことのハードルが高まっている。

【**社会的支援の不足と情報の不足**】不妊治療への支援や子育て支援制度の不足、特にこれらの制度に対する情報が十分に行き渡っていないことも、若い世代の子どもを持つことへの意欲減少に繋がっている。育児や家庭生活に対する支援が若者にとって十分に感じられない。

少子化対策に関する意見

【**社会全体で子育てを支援する社会へ**】子どもを持つこと、育てることの喜びや価値を社会全体で共有し、経済優先の考え方から子ども中心の考え方への価値観の転換が大切ではないか。

【**育児・教育支援の充実**】保育園の入園困難解消、質の高い保育の提供、教育費用の軽減策、子育て支援制度の拡充とその情報の普及。また、地域社会全体で子どもや家庭への支援体制の強化も必要。

【**就業機会の確保と公共交通の充実**】地域ごとに魅力のある働き場所の確保と、公共交通の整備を通じて、家庭が生活しやすい環境を作ることが必要。育児と仕事の両立がしやすい社会を目指さないといけない。

【**結婚と家庭形成の支援**】出会いの場の創出、結婚や育児へのポジティブなイメージの提供、経済的なインセンティブの提供など、結婚と家庭形成を促進するための施策が必要。

【**女性の社会進出と育児の両立支援**】女性がキャリアと育児を両立できるような支援策を強化してほしい。育児休暇後の職場復帰を支援する制度や、柔軟な働き方ができる環境の整備が必要。

まとめ

経済的情勢や社会的な側面からの意見と、個々の価値観やライフスタイルに対する理解と支援の必要性など、非常に多岐に渡る意見が出ました。

少子化問題に対する解決策は、単一の策ではなく、社会全体での取り組みと長期的で多角的な視点が必要であることが、参加者の意見からも明らかになりました。



なぜ値上がりが続くの？

物価高騰に対して

- ・日本は輸入・海外に頼りすぎ。国内の農産物を食べて自給率を上げるべき。
- ・今までの物の価格が安すぎた。卵の値段もこれでいい。米は安すぎる。
- ・消費者も適正価格を理解すべき。米の需要を高める宣伝をすべき。

農業者や市の農政に対して

- ・地場産野菜は高くても安心なので買いたい。スーパーなど「地元野菜」コーナーをもっとつくってほしい。生産者の顔が見えるようにしてほしい。
- ・農業者はPRが下手、もっと情報発信をすべき。
- ・米の消費拡大で、オーガニック米や新品種「きらみずき」など、米自体に付加価値をつけて高く売れるようにしてほしい。
- ・米粉の活用を広げて、アレルギーの方でも食べられるパンをつくってほしい。
- ・いかに農業を続けていくが課題。農家が儲かることが必要。
- ・非農家の人々が農にふれる機会がない。子どもが農業体験する機会を。
- ・政所茶の高級ブランド化など地域の特産物のブランド化を進める。
- ・女性がSNSなどで農産物などのPRを手伝うなど、情報発信をもっとすべき。
- ・学校の部活動などに農業部をつくり、土や農にふれる機会づくりをする。
- ・地域の農業を守るには米をつくる就農者が必要。集落営農を守ることが大切。
- ・農家への国の施策以外に市独自の施策を考えてほしい。
- ・新規就農者を応援するシステムづくりが大切。
- ・土地については、先祖代々守ってきた土地を人に貸す意識改革が必要。
- ・コストコに来た客をあいとうマーガレットステーションへの誘導できないか。

消費者の視点から

- ・消費者の意識改革が必要（今までが安すぎた）
- ・オーガニック米や新品種「きらみずき」、米粉パンなど新たな付加価値をつけた農産物の生産を。また、地産地消を進めるべき。

まとめ

話は農業問題全般になりました。

また女性の参加者が多く女性目線や非農家からの率直な意見が多く出て、農業、消費、地域問題への関心の高さを実感しました。

アンケート結果

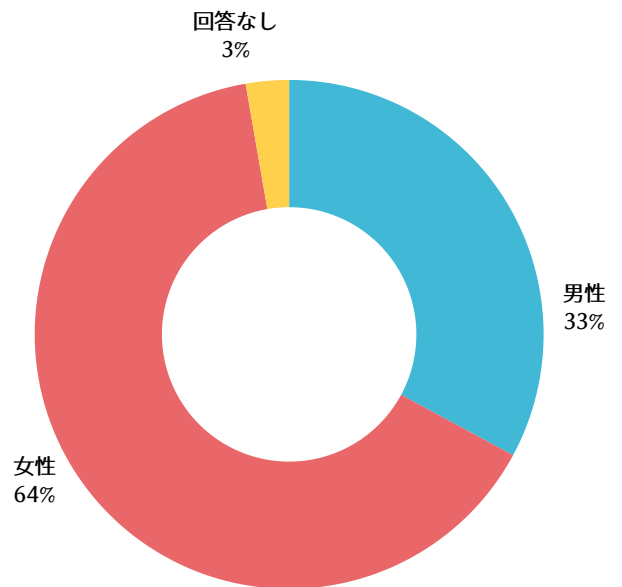
ご参加いただいたみなさんにアンケートを実施しました。
その結果は次の通りでした。



質問 1 あなたの性別は？

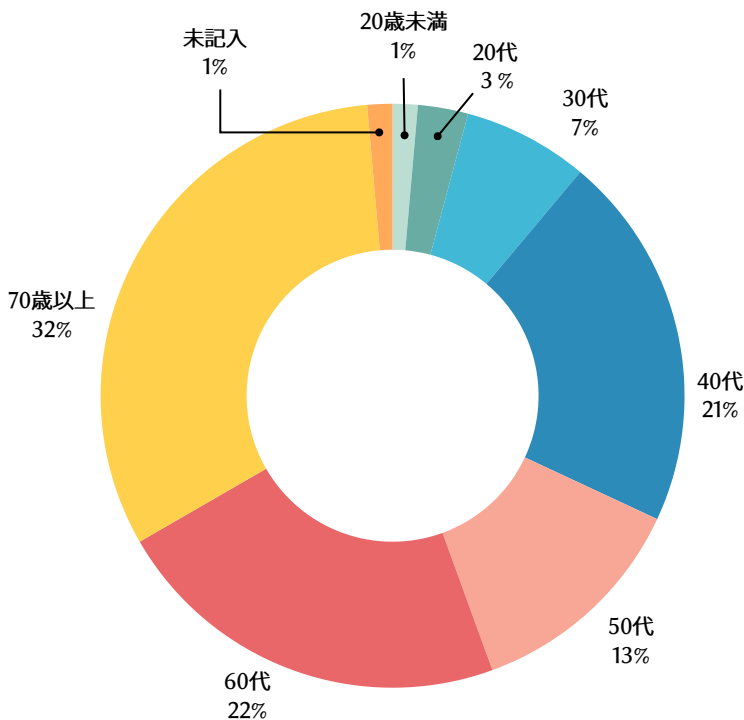
単位：人

性別	人数
男性	24
女性	47
その他	0
回答なし	1



質問 2 あなたの年齢は？

単位：人

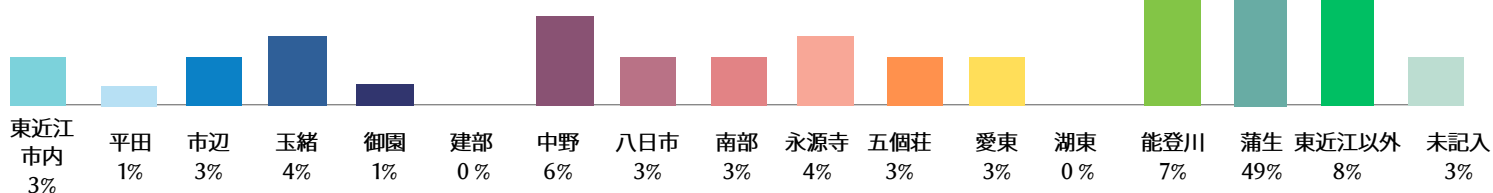


年代	人数
20歳未満	1
20代	2
30代	5
40代	15
50代	9
60代	17
70歳以上	22
未記入	1

質問3 あなたのお住まいは？

お住まい	人数
東近江市内	2
平田	1
市辺	2
玉緒	3
御園	1
建部	0
中野	4
八日市	2
南部	2
永源寺	3
五個荘	2
愛東	2
湖東	0
能登川	5
蒲生	35
東近江以外	6
未記入	2

単位：人

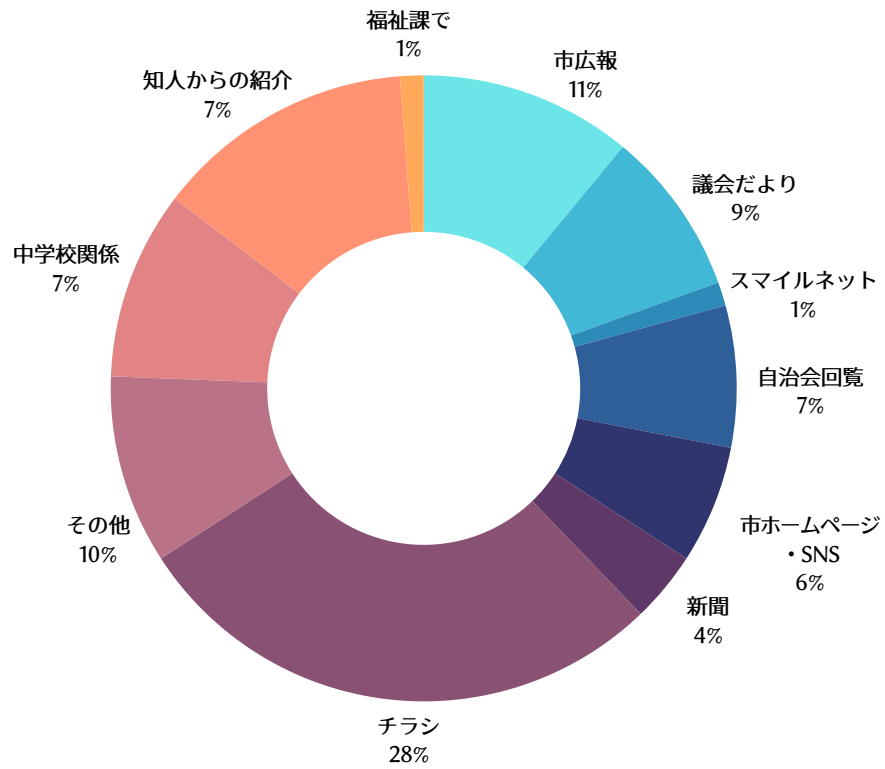




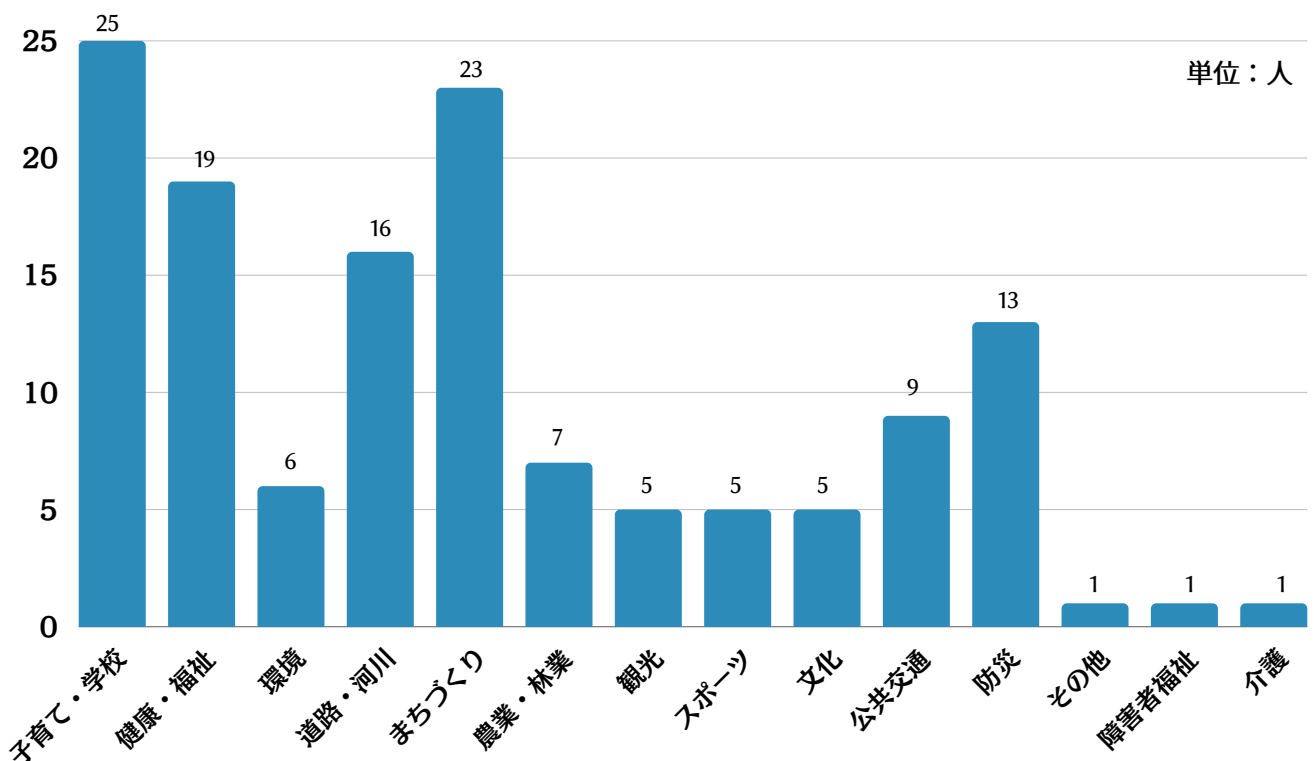
質問4 何を見て参加されましたか？

情報媒体	人数
市広報	9
議会だより	7
スマイルネット	1
自治会回覧	6
市ホームページ・SNS	5
新聞	3
チラシ	23
その他	8
中学校関係	8
知人からの紹介	11
福祉課で	1

単位：人



質問5 次回意見交換会で取り上げてほしいテーマは？



単位：人

質問6 その他、意見・要望・お気づきの点などがあればご記入ください。

意見交換会について

- ・意見がたくさん出て、楽しい雰囲気意見交換会でした。
- ・とても有意義な機会をありがとうございました。多くの方と交流ができました。
- ・意見交換会の時期を年度末でなく6月ごろまでに開催し、今年度の夢を語ってほしい。
- ・このような機会を年一度ではなく定期的に行ってください。テーマ一つで徹底的に。
- ・時間が短く、内容が未消化で煮詰まらず残念。関心のあるテーマを掘り下げて話し合いたかった。
- ・意見交換会の場、回数が少ない。
- ・大変良い計画でよかった。皆様の話を聞いてよかった。また意見交換をお願いしたい。

意見・感想

- ・どんな仕事をしているか？仕事の内容、市との関係が分かった。
- ・各委員会の報告は一般市民にもわかりやすくまとめられていてよかったと思います。
- ・議会活動報告はわかりやすく良かったです。
- ・参加者が少ない。人が呼べる魅力のある会を開催してください。
- ・議員みずから各地区に出向いて行すべきと思います。
- ・第一部の報告が報告になっていない。視察して、その後東近江市でそれをどのように生かしたのかわからない。
- ・マクロの課題にも突っ込んだ意見や要望を聞いてほしい。議員活動が見えないのもっと議員は足で稼いで市民の意見を聞いてください。
- ・今回の意見がどう市政に生かされるのか楽しみにしています。
- ・オープニングの吹奏楽部の演奏は、いい演奏で感動した。
- ・今後も続けてほしい。
- ・市の特産物（菜ばかり）のおみやげがもらえるなどあればもっと主婦も参加すると思う。

要望

- ・今後も引き続き、市民と議会で手を取り合い、市をより良い方向へ導いてください。
- ・目新しいことに取り組むのではなく、今住んでいる市民の幸せを考えてほしい。
- ・今回のテーマと違って、いろんな団体長のなり手が少ないことに知恵を貸してほしいです。
- ・国スポ・障スポの盛り上げをお願いします。
- ・手話通訳者が減少していますが、手話通訳者を増やす支援をお願いします。
- ・本町通りのにぎやかさを取り戻す努力をしてほしい。
- ・手話言語条例の制定を要望してほしい。

このほかにも 大変多くの御意見をいただきました。
ありがとうございました。

今後の市政や議会運営に役立てていきます。

今後もさまざまな取組で市民の皆様と意見交換をしていきたいと考えます。

御参加いただきました皆さまに感謝申し上げます。

案内チラシ

第10回

市民と議会の意見交換会

あなたの声をカタチに

—なぜここに女性がいないの?—

まちのこと、子育てのこと、食のことなど、女性のみなさんとも
どんどん意見を交わしていければと思っています。

みなさんが日頃考えていることを声に出してみませんか？

●開催●

令和6年 1月27日 (土)

13時30分～(13時～開場)

●会場●

あかね文化ホール

蒲生コミュニティセンター

東近江市市子川原町461-1

●スケジュール●

【第1部】

13:30 オープニング
朝桜中学校吹奏楽部

13:55 市議会の取組報告

【第2部】

14:35 ワールドカフェ方式の
意見交換会

15:40 閉会

女性
大歓迎



☕ ワールドカフェって？

お茶やコーヒーを飲んだり、お菓子を食べたり…。

カフェでお茶をしながらおしゃべりをする
雰囲気、考えや思いを共有し合う会議の
手法です。

※手話通訳が必要な方は事前にお申出ください。

☕ お問い合わせ

東近江市議会事務局

☎0748-24-5680 / IP 050-5801-5680



開かれた議会を目指して

編集 : 議会報告会運営委員会

委員長 : 西村和恭

副委員長 : 西崎 彰

委員 : 森 鉄兵・中村和広・浅居 笑・辻 英幸
吉坂 豊・森田徳治・廣田耕康・竹内典子

オブザーバー : 大橋保治 (～10月)

西澤由男 (11月～)